



くらこん!

KURATE COLLECTION

鞍
手
町

◆ 鞍手町への観光のお問い合わせ

鞍手町役場 地域振興課 TEL:0949-42-2111

福岡県鞍手郡鞍手町大字中山3705

<http://www.towm.kurate.lg.jp/>

〈表紙写真〉

産炭地として栄えた鞍手町。

石炭とともに、近代日本の発展を支えてきました。

文化財だらけ！ 仏像、御神木、古墳の“重厚”なパワーで ちっぽけな自分が変わるかも

ふるつきよこな 古月横穴 **国指定史跡**

古墳時代後期（6世紀後半から7世紀）に造られた横穴墓群で、現在40基が確認されています。通常の古墳のように土を盛った墳丘を持つものや、内部に装飾があるものもあります。中でも9号墓の内部には赤い色の文様が描かれており、県内では珍しい横穴墓です。

鞍手町大字古門3080-1
アクセス/すまいるバス「古月横穴」バス停から徒歩約2分
P/有



十六神社『大楠』

町指定文化財

十六神社の境内にある大きなクスノキは、推定樹齢が500年ともいわれる古木です。幹周りが約5メートルもあり、大きな枝を広げた姿は迫力満点。幹の中央には大きな空洞があり、自然の造形美を感じさせます。幹の周りにはしめ縄がかけられ、神社の御神木として厚く信仰されています。

鞍手町大字八尋489
アクセス/すまいるバス「神田入口」バス停から徒歩約5分
P/なし 見学時間/見学自由

ほかにも鞍手町には、中山不動尊の「木造不動明王及二童子像」(国指定重要文化財)や「高木薬師如来」(町指定文化財)など、歴史的価値のあるお宝がたくさんあります！



▲頭の上には11の化仏といわれる仏の頭が置かれている。

ちょうこくじ 長谷寺 (通称「はせでら」) 『木造十一面 観音立像』

国指定重要文化財

地域の人たちから親しみを込めて「長谷の観音さま」と呼ばれている、長谷寺の「木造十一面観音立像」。平安時代(10世紀頃)に造られたといわれる、歴史のある仏像です。頭部から蓮の台座までが1本のクスノキから掘り出されており、背面の光背には炎の文様が描かれているなど、細部に渡って見ごたえがあります。

鞍手町大字長谷546-2
アクセス/
すまいるバス「室木」バス停から徒歩約20分
P/有 拝観日/毎月17日、18日

▲観音像の高さは188センチメートル。背面の光背を含めると、さらに大きさを増して迫力を感じる。



見ているだけで、
歴史の深みに
吸い込まれそう



十六神社の大楠

この町の祭りは“夜”に盛り上がる
行列、綱引き、火渡り神事
どれも見逃せない！



▲ 腕組みをしてぶつかり合う「もみ合い」の後、
激しい綱の引き合いが始まる。どちらも迫力満点！

ながたにまんねんがんぼんつなひき
◆ 永谷万年願盆綱引き

町指定文化財

鞍手町の永谷地区で、毎年8月14日の盆行事として行われています。地区内で上組と下組に分かれ、藤かずらを結びつけた大綱を勇壮に引き合います。飢饉や疫病で苦しむ村を救った博多の大商人・白水幽心への恩を忘れないため、また先祖供養のために、約360年もの間受け継がれています。

期間 / 毎年8月14日
会場 / 鞍手町 永谷地区
真教寺山門前(鞍手町大字永谷901)



◆ 八剣神社
湯立神楽

町指定文化財

八剣神社で毎年10月に行われている伝統行事で、天正15(1587)年に奉納された記録が残されています。「湯立神楽」とは、釜で湯を煮えたぎらせ、その湯を使って神事を行うもので、無病息災や五穀豊穡を願うものです。現在、筑豊地方で唯一継承されている湯立神楽です。

期間 / 毎年10月
会場 / 八剣神社
(鞍手町大字中山862-1)

◀ 火渡りが行われた後の燃え残った炭は、
病氣や災い除けの縁起物として
持ち帰られている。

つるぎじんじやせんぐうぎょうれつ
◆ 剣神社遷宮行列 町指定文化財

応永年間(1394~1428年)を起源とし、4年ごとに行われる剣神社の遷宮行列。10月の日没より神事が行われ、神社を出た神輿の列に大名行列が連なります。大名行列にちなんでいろいろな道具を持った人々が、先払いの声に合わせ、独特の足さばきで夜道を進む風景は一見の価値あり！行列は木月の町筋を練り歩いて、剣神社へと戻ります。

期間 / 4年ごとに開催 10月 日没より ※日には要問い合わせ
会場 / 鞍手町 木月地区 剣神社(鞍手町大字木月1349)

剣神社の大名行列は、明治時代に八所宮(宗像市)で行われていたものを取り入れたといわれる。▶



▲ 白衣に白袴を来た神職が、笹束を釜の湯に浸して両脇に抱え、
熱せられた地面の上を裸足で走る。



夜の伝統行事には、
不思議な
高揚感がある



大地と水と太陽が
つくったおいしい芸術。
『鞍手^{まれ}う希』



いちご

実が大きく、鮮やかな赤色が美しい「あまおう」がたくさん採れます。果汁の糖度が高いのが特徴です。

いちぢく

トロリとした柔かい果肉と、豊潤な甘さが魅力の「とよみつひめ」が多く栽培されています。



たまご

親鳥のエサや飼育環境にこだわった「味宝卵(みほうらん)」や「貴黄卵(きおうらん)」は、濃厚でぷっくりした黄身が美味しいたまごです。



巨峰

福岡県内でも有数の巨峰の産地として知られる鞍手町では、いたるところでぶどう畑を見ることができます。戦後まもなく巨峰の栽培が導入された西日本一古い産地であり、以来ずっと南側傾斜を利用した「深耕栽培」の技術が磨かれてきました。濃厚で豊潤な甘さを持つ巨峰は、その質の高さから広く脚光を浴びています。



▲ 7月中旬から9月末頃までが旬となる鞍手の巨峰。直売所や地方発送をしているぶどう農家から購入することができます。



鞍手町が掲げる
美味しい
農産物ブランド
『鞍手^{まれ}う希』

「鞍手う希(くらてうまれ)」とは、鞍手産の農産物ブランドを総称した名前です。鞍手の肥沃な大地と、生産者たちの熱い想いから生み出された“希望”の産物である「鞍手う希」は、町内外から大きな注目を浴びています。現在はぶどう(巨峰)、いちぢく(とよみつひめ)、いちご、たまご(味宝卵、貴黄卵)が、「鞍手う希」のブランドとして高い評価を得ています。



”漆黒“の巨峰。
甘い果実が誘惑する
農業のまち

ご賞味あれ！ 鞍手町のソウルテイスト 「復刻きらくソース」を！

きらくそうすい ◆ 喜楽総帥

復刻きらくソースのイメージキャラクターとして誕生した「喜楽総帥」。総帥とはまとめ役の意味で、料理の味をまとめるソースと役割を重ねています。イベントなどに不定期で出演中！



ここで味わう！

鞍手町内では、この「復刻きらくソース」を使った料理を食べられる飲食店がたくさんあります。詳しくは鞍手町役場などに設置されているパンフレットを参考にしてみてください。

* 鞍手町内の直売所「サングリーン鞍手」ではソース本体を購入できます。



◆ 復刻 きらくソース

鞍手町中山地区で長年愛された後、平成14年に閉店した食堂の味を再現した「復刻きらくソース」。黒みの濃いスパイシーなソースはいろんな料理に合うと評判で、家庭でも気軽に味わえるよう、商品化して販売されています。また、町の多くの飲食店がきらくソースを使ったメニューを開発。復刻ソースを巡るグルメ探訪もお勧めです。



とろり濃厚なソースは、スパイシーな味わい。余り野菜の炒め物でも、きらくソースを使えば「お店の味」に変わる。



町中が、
濃いくらい味に
夢中になってる



「あの頃の味を再び！」
鞍手町の商工会青年部が
情熱をかけた伝説のソース
復活秘話



昭和40年代からずっと、人々の記憶の中に深く刻まれたソースがありました。鞍手町で営業していた「きらく食堂」のオリジナルソースです。スパイシーでありながら深い旨味のある特製ソースは、多くの常連客に愛されてきましたが、平成14年に「きらく食堂」は看板を下ろしました。それから10年、鞍手町の商工会青年部が、その伝説のきらくソースを復活させようと立ち上がりました。何度も何度も試作を経てついに完成したソースは、きらく食堂のおばちゃんも太鼓判の味。町の人々の記憶の中から復活した「きらくソース」は、こうして鞍手町の名物となったのです。

山ガールも、山オジサンも 「やっほー!」と叫びたくなる 鞍手の自然



▲ 山麓にある「六嶽(むつがたけ)神社」には、宗像三神が祀られている。
町指定文化財の「六嶽神楽」でも有名。

◆ 六ヶ岳

標高339メートルの旭岳をはじめとした、6つの峰からなる山で、鞍手町の南部にあります。宗像大社の祭神である宗像三神がこの山に天降り、その後宗像に移り住まれたという伝説がある場所です。鞍手町からの登山道のほか、直方市、宮若市からのルートもあり、それぞれから登山を楽しめます。

六ヶ岳 登山道(鞍手町)
その他にも直方市、宮若市からの登山道がある。

◆ 大谷自然公園

大自然に囲まれた環境の中で、ウォーキングや散歩ができる癒しの公園です。滑り台やターザンロープなどの遊具もあり、親子連れでのお出掛けにもお勧め。

鞍手町大字古門34



▲ 剣岳の山麓には「八剣神社」や、国指定の重要文化財になっている「木造不動明王及二童子像」が安置されたお堂などもある。

◆ 剣岳自然公園

鞍手町のほぼ中央にある剣岳は、“鞍手富士”と呼ばれるほど美しい形をした山です。町の景色を一望できる山頂は自然公園になっており、ハイキングで訪れた人々の憩いの場として親しまれています。公園の近くには、室町時代に築城されたといわれる「剣岳城跡」もあります。

鞍手町大字中山1590-5



▶ 眺めの美しさで人気の公園。
遠足コースにもなっているので、
気軽にハイキングが楽しめる。



深いみどりと
抜けるあおの
絶景コントラスト



2大イベントの企画人に聞く 町のお寺や学校が ワクワクの舞台に!

くらて学園

「くらて学園」とは、廃校になった旧中学校をサブカルチャーのイベント会場や撮影スタジオとして再活用する、全国的にも珍しいプロジェクト。アニメーションや音楽といったカルチャー基地、またモノづくりの拠点としても注目されています。



<イベントの開催予定>
詳しくは「くらて学園 ホームページ」をチェック!
<http://kurategakuen.com/>

「アニメファン向けのイベントを開催した時は、遠くは関東から約200名の来場者がありました。全国的にも廃校を利用したイベントは珍しいみたいで、今後は外国人の観光客も増えるのではないかと期待しています。」こう語るのは、企画人の重松さん。

くらて学園では、人気が高いアニメイベントのほか、今後は大人の運動会などユニークな企画を予定しているのだとか。また来場者と地元の人たちとの交流の場を設けたり、クリエイターが集うモノづくりの拠点にする構想もあるそう。イベントに参加したり、学園内の施設をレンタルしたりと、楽しみ方が広がる町の新名所になりそうです。

県外からの来場者も 全く新しい観光拠点



企画人の声

くらて学園合同会社
重松 克則さん



キャンドルナイト くらて IN 長谷観音

長谷寺の秋の大祭に合わせて行われる、幻想的なライトアップイベント。国の重要文化財である通称・長谷観音を灯籠の光で照らし、スローな夜を過ごすことを目的としている。来場者は年々増え続け、約3,000名が集う。

「感動した!」の声 鞍手の夜を彩るイベント



企画人の声

NPO法人南陵塾 事務局
坂本 剛さん

格式ある長谷寺をキャンドルで灯し、幻想的な世界を体感するライトアップイベント。スローな夜とフワフワな夜の対比を楽しむこのイベントは、年々規模を拡大しているのだとか。

「三角灯籠は地元の小学生が手作りをし、竹灯籠に使用する竹は長谷地区の竹林から切り出しています。ステージでは町出身の芸人さんや歌手の方に出演していたり、など、鞍手町が「丸」となっており上げるイベントです。来場者が増え、運営スタッフの関係も強くなりました」と語るのは、企画人の坂本さん。長谷地区から鞍手町の魅力を発信していくのが夢なのだそう。

<イベントの開催予定>
毎年10月17日、18日(長谷寺 秋の大祭の開催日)近くの土曜日
長谷寺およびその周辺



ロマンティックで、
ドラマチック。
”企画“がいいね!”

鞍手町の主な年間行事

5月 くらて芸能まつり 8月 子どもフェスタ 10月 鞍手美術展



10月 公民館まつり 10月 町内体育祭 10月 くらて元気まつり



Pick UP!

◆ 鞍手町歴史民俗博物館

町の歴史と庶民の生活をテーマにした博物館。古墳から出土した馬具や武器、戦前の暮らしの道具や、町にゆかりの深い国学者・伊藤常足が遺した文書などを展示している。



◆ 石炭資料展示場

鞍手町の炭鉱の歴史と文化を伝える展示施設。実際に炭鉱で使われた器具類を多く展示しており、炭鉱のあった時代背景や人々の暮らしをリアルに知ることができる。



◆ くらじの郷

鞍手町総合福祉センターとして、健康づくりや福祉活動の充実を目的に運営されている。各ボランティア団体の活動の場や、企業や住民の交流の場としても活用されている。



| 鞍手町へのアクセス | |
|-----------|------------------------------------|
| | ◆自動車 鞍手ICから町の中心部まで約3分 |
| | ◆高速バス 西鉄バス「直方PA」バス停から路線バスで約10分 |
| | ◆電車 JR鞍手駅まで、博多駅から約60分、小倉駅から約45分 |